

保健体育

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 健康な生活と疾病の予防及び健康と環境について、基礎的・基本的な内容を科学的に思考し、理解することができるよう工夫されているか。
	(5) 心身の機能の発達と心の健康について、理解を深めるとともにストレスに適切に対処することができるよう工夫されているか。
	(6) 傷害の防止について、理解を深めるとともに応急手当を適切に実践することができるよう工夫されているか。
	(7) 運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について理解することができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館	学 研
<p>1 な教育 人間基本 性の法 育の理 念や第 三期上 での特 長 長崎県 教育振 興基本 計画の 趣旨・ 内容を 踏まえ て、豊 か</p>	<p>(1) 成めび教 とぎ一科 なす教の つ人育特 つ間の質 ている像に るか「標」 の育の成 成達に成 資一教育 する本県 内容目的 「育」育 構が及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康な生活と疾病の予防③」における章末では、ヘルスプロモーションについてまとめたり、SDGsに発展させたりすることで、心豊かでたくましい人間を育成することができるよう配慮されている。 ・章末資料として、「胎児を育てる母体の神秘」や「性の多様性」を掲載することで、命を重んじ、心豊かでたくましい人間を育成することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末の「学びを活かそう」では、記入欄を広く設け、学習したことをより深く理解し、生活に生かすための課題を設定することで、創造性に富み、自立した人間を育成することができるよう配慮されている。 ・「トピックス」や章末資料において、学習に関連した情報を掲載し、国や社会の取組や問題を取り上げることで、国際社会に貢献する人間を育成することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵「よりよい未来に向けて」では、SDGsを取り上げることで、本県の未来を担い創造しようとする態度や国際社会に貢献する態度を育成することができるよう配慮されている。 ・人間の生き方、健やかな身体などに触れた「コラム」や「事例」を配置することで、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関係が深い「探究しようよ！」を各章末に設け、興味をもちやすい課題を取り上げることで、創造性に富み、自立した人間を育成することができるよう配慮されている。 ・「章の扉」では、性の多様性について研修等を行っている人やがん教育の専門家のコメントを掲載することで、自分と他者の命を大切に、自他の健康・安全について学習することができるよう配慮されている。
	<p>(2) る然ふ 題にる 材つさ がいと 扱わ長 れて崎 いるの か。伝 統・文 学化や 習歴 に生 かせ 自</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害による危険」では、身近に起こり得る自然災害についての対処法を学び、長崎県で過去に起きた大水害や火山噴火から、どのような知識と備えが必要かについて理解を深めることができるよう配慮されている。 ・「自然災害による傷害の防止」では、これまで起きた国内の自然災害の写真が多く掲載され、長崎県で過去に起きた大水害や火山噴火から、どのような知識と備えが必要かについて理解を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害によるけがの防止」の特集資料では、命を守る行動が示されており、長崎県で過去に起きた大水害や火山噴火から、どのような知識と備えが必要かについて理解を深めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然災害に備えて」では、これまで起きた国内の自然災害の写真が多く掲載され、長崎県で過去に起きた大水害や火山噴火から、どのような知識と備えが必要かについて理解を深めることができるよう配慮されている。 	

Ⅲ 具体項目

保健体育

観点	発行者	東 書	大日本	大修館	学 研
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 夫実基礎に習得・基本的な知識・技能を工確</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各章末の「学習のまとめ」では、学習内容を確認し、振り返ることができる「確認の問題」を設定することで、知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 学習内容を分かりやすく示す「Dマークコンテンツ」や他教科との関連を示す「他教科リンク」を設けることで、知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要な言葉は太文字で表記するとともに、章末の「学習のまとめ」において、「重要な言葉」として取りまとめることで、知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「リンク」を設け、他章の学習と関連付けて資料を示すとともに、章末の資料や「ミニ知識」を記載することで、知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各章末の「章のまとめ」では、知識・技能の確認問題だけではなく、日常生活の中で、学んだことを生かしていくための問いを設定することで、より実践力を高めることができるよう工夫されている。 文中の語句や内容についての解説を同一ページ内に提示したり、関連する学習内容が記載されているページやURLを提示したりすることで、知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭にキーワードチェック項目を設けるとともに、各章末の「章のまとめ」では、「確かめよう」「生かそう」において、習得した知識や理論を確認することで、知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 用語解説を同一ページ内に提示したり、「情報サブリ」で関連したミニ知識を記載したりすることで、知識・技能を習得することができるよう工夫されている。
	<p>(2) る育め知か成に識す必・る要技こな能を考活用し判て課う力、を夫表解され力す等た</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「保健体育の学習方法」において、ディスカッション、ブレインストーミング、課題学習、ロールプレイ等々の学習方法を紹介することで、学習の目的や内容に合わせて選択し実践することを通して、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。 「広げる」では、知識を活用する学習活動として、考える、話し合う、発表するなどの活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な統計資料を効果的に用いることで、データを読み取ったり、比較したりすることを通して、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。 「話し合ってみよう」では、資料や図を参考にしながら、既有的知識や経験を生かして考察したり、話し合ったりする活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 項末課題「学習のまとめ」では、「話し合おう」「生かそう」「確認しよう」と学習活動に沿って考えさせ、直接教科書に書き込むスペースを設定することで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。 「体育の窓」「保健の窓」を設け、習得した知識・技能を活用した課題解決的な学習を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」では経験や既有的知識を生かし、「考える・調べる」では意見を出し合い、「まとめる・深める」では身に付けた知識を活用するなど、生徒の積極的な活動を促すことで、思考力、判断力、表現力等を高めることができるよう工夫されている。 「探究しようよ!」では、各章の探究項目について、さらに深く考え、調べ、話し合う活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
	<p>(3) れに主付体的に学が取り組むよう態度夫を身</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「見つける」では、日常生活から自他の課題発見につなげる発問を設定することで、学習課題を主体的に捉え、課題解決に取り組むことができるよう工夫されている。 各章の冒頭に、小学校と高等学校の学習内容を明記し、学習の系統性が分かるようにすることで、見通しをもって、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭口絵「生きがいのある豊かな生活を!」では、3年間の学習目標を一目で分かるように示すことで、見通しをもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 本文ページと資料ページを明確に分け、学習内容の要素を見やすくするとともに、参照性を高くすることで、「主体的・対話的で深い学び」につなげることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭口絵「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」では、写真や著名人の話を取り上げ、スポーツライブについて説明することで、見通しをもって主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 各学習項目の冒頭「課題をつかむ」に多様な導入活動を提示することで、これからの学習を見通し、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の冒頭に「教科書の構成と学習の流れ」を掲載するとともに、随所に「情報サブリ」「リンク」「探究」を設けることで、調べ学習や問題解決的な学習に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 教え合ったり学び合ったりする活動に「協働」のマークを示すとともに、各項目の最後に「まとめる・深める」を設けることで、主体的に学習することができるよう工夫されている。

III 具体項目

発行者		東 書	大日本	大修館	学 研
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	観点 (4) 健康を生活の基礎とする。疾病の予防が可能な内容と健康と環境との関係について理解を深めることができるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> 「運動、食事、休養及び睡眠が、健康にどのように影響するのかについて、様々なイラストや資料で示すとともに、「5. 調和のとれた生活」を1単位時間設けることで、科学的に思考し、相互の関連について理解を深めることができるよう工夫されている。 「健康と環境」では、環境と健康のかわりについて、グラフや資料を多く取り入れることで、統計に基づいた科学的な思考を深めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「健康な生活と病気の予防」では、数多くの挿絵等を組み合わせ、視覚的に捉えさせるとともに、データをグラフ等で効果的に示すことで、科学的に思考し、理解を深めることができるよう工夫されている。 「健康と環境」では、身近な生活や活動に関する資料を多く取り上げ、日常生活と関連付けることで、健康な生活と疾病の予防について学習を深めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「がんとその予防」「生活習慣病・がんの早期発見とその回復」では、健康診断の検査例を掲載するとともに、多くのデータをグラフを用いて効果的に示すことで、科学的に思考し、理解を深めることができるよう工夫されている。 「環境の変化への体の適応」「気象情報の適切な利用」では、多くの統計資料を掲載することで、科学的な思考を伴った理解を深めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭で学習目標を明示するとともに、「健康な生活と病気の予防」では、詳しい記述と適切で豊富な挿絵を掲載したり、コラムを設けたりすることで、科学的な認識を伴って理解を深めることができるよう工夫されている。 「室内の空気の条件」では、資料を読み取って考える課題を設けたり、章末の「探究」で多くの資料を示したりすることで、学習を深めることができるよう工夫されている。
	(5) 心身の機能を高め、心身の発達と心の健康に適切に対応できるように工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> 「心身の機能の発達と心の健康」では、「活用する」において中学生の日常生活で起こるような事例を取り上げることで、生徒が意欲をもって学習に取り組む、理解を深めることができるよう工夫されている。 「ストレスへの対処の方法」では、コミュニケーションの大切さや、「技能」として教室で短時間で行えるリラクゼーションの方法などを示すことで、ストレスに適切に対処することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生命を生み出す体への成熟」では、生命誕生や月経の経過、排卵から着床までの具体的な画像や資料を提示することで、器官の働きと、その発育・発達について理解を深めることができるよう工夫されている。 「ストレスへの対処」では、「トピックス」や「資料」を設け、身近な生活・活動体験を取り上げることで、日常生活と関連付けながらストレスに適切に対処することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心身の発達と心の健康」では、一つ一つの図や挿絵を大きく鮮明に掲載するとともに、多くのデータをグラフを用いて効果的に示すことで、心身の機能や心の健康について理解を深めることができるよう工夫されている。 「ストレスへの対処のしかた」では、リラクゼーションの方法として、体ほぐしの運動や呼吸法、筋肉をリラックスさせることを紹介することで、ストレスに適切に対処することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「心の発達と心の健康」では、心の健康の学習と関連付け、いじめについて考える内容を多く取り入れるとともに、相談窓口や相談の方法について具体的に掲載することで、心の健康について理解を深めることができるよう工夫されている。 「欲求不満やストレスの対処」では、ストレスの対処の仕方について、具体的な例を多数取り上げ、「探究」ではストレスチェックの例を示すことで、ストレスに適切に対処することができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

発行者		東 書	大日本	大修館	学 研
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、 確かな学力の育成を図る上での特長	観点				
	(6) か 傷害の防止に こととが もに で できる よう 工夫 されて いる か	<ul style="list-style-type: none"> 「傷害の防止」では、防災教育にかかわる内容を重視し、発展的な学習内容として、「共に生きる」を設け、災害時の心のケアや地域のきずなについて読み物資料を示すことで、理解を深めることができるよう工夫されている。 「応急手当の意義と方法」「心肺蘇生法」では、直接圧迫止血法や包帯法、心肺蘇生法などについて、実習の手順を豊富な写真と丁寧な解説で分かりやすく示すことで、適切に実践することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「傷害の防止」では、交通事故の要因と傷害の防止について、中学生が使用する機会が多い自転車の特性や、自転車に関連する事故を予測するための資料などを多く掲載することで、理解を深めることができるよう工夫されている。 「応急手当の基本」では、「心肺蘇生法」について、心肺蘇生法の手順や、胸骨圧迫、人工呼吸の正しい方法、AEDの使い方について詳しく説明することで、適切に実践することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「傷害の防止」では、発展的な学習内容として、犯罪被害から身を守る方法や、ネットワーク利用犯罪の危険性について具体的な資料を数多く示すことで、理解を深めることができるよう工夫されている。 「心肺蘇生法の流れ」では、AEDの意義や自ら積極的に人命救助に当たることの意義を「コラム」に掲載するとともに、気道確保や人工呼吸などの方法を写真を用いて解説することで、適切に実践することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「傷害の防止」では、様々な自然災害に対する備えとして、連絡先や避難場所、危険な場所の確認、警報や注意報ととるべき行動の確認などを取り上げることで、日頃からの備えの意義について理解を深めることができるよう工夫されている。 「心肺蘇生法」では、数多くの写真等を組み合わせ、視覚的に示すとともに、手順に沿ったポイントチェックシートを取り入れることで、適切に実践することができるよう工夫されている。
(7) ス ポ ー ツ の 多 様 性 の 意 義 に つ い て 理 解 す る こ と が で き る よ う 工 夫 さ れ て い る か	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツの多様性」では、運動会を例に運動へのかかわり方を振り返らせるとともに、東京マラソンを例にして、実際に運動する・見る・支える、調べて知るなど、多様なかかわり方を示すことで、スポーツの意義について理解することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」では、世代や機会に応じて運動を楽しむための自分の考えを書き込む欄を広くとることで、主体的に学び、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」では、学習内容に関連する図や運動生理学等のデータ、学び方を掲載することで、運動やスポーツの多様性を理解することができるよう工夫されている。 「文化としてのスポーツの意義」では、IOCオリンピック憲章や、各種国際大会の写真、章末資料ではオリンピック・パラリンピックの資料を掲載することで、国や性別、障害の有無を超えた文化としてのスポーツの意義を理解することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツの多様性」では、東京マラソンを例にして、行うこと、見ること、支えること、調べて知るなどのかかわりを示すとともに、スポーツに関する職業など多様なかかわり方を示すことで、スポーツの意義について理解することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」では、「豊かなスポーツライフ」を参考にしながら、世代や性別を超えて運動を楽しむことを考える活動を設定することで、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」では、学習内容に関連する写真・画像をより多く掲載することで、運動の意義や効果、学びを理解することができるよう工夫されている。 「文化としてのスポーツの意義」では、オリンピックやパラリンピックを取り上げることで、努力・敬意・支え合い・平等・公平、国際親善や世界平和など文化としてのスポーツの意義を理解することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツの多様性」では、運動会への関わり等を例に、「する」「見る」「支える」「知る」について具体的に示すとともに、「地域」「職業」としてのかかわりに触れ、スポーツへかかわることの意義を理解することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」では、「ランニングのいろいろな楽しみ方」を例として、運動の多様な楽しみ方を考える活動を設定することで、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの効果・学び方・安全」では、体力要素と、体力を高める運動の例を挿絵付きで説明することで、体力の要素だけではなく、要素を高めるための運動を理解することができるよう工夫されている。 「文化としてのスポーツ」では、オリンピックやパラリンピックの歴史を取り上げることで、国際親善や世界平和など文化としてのスポーツの意義を理解することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「運動やスポーツの多様性」では、生涯にわたってスポーツを主体的に続けたり、誰もが参加できるように内容やルールを工夫したりする大切さを示すことで、スポーツにかかわることが身近なこととして理解することができるよう工夫されている。 「運動やスポーツの多様な楽しみ方」では、「スポーツの多様な楽しみ方の例」を参考に、様々な場面での運動を楽しく行う方法を考える活動を設定することで、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現することができるよう工夫されている。 「スポーツの効果と安全」では、学習内容に関連した読み物資料（コラム）を豊富に掲載するとともに、学習内容と関連したイラストや図を掲載することで、スポーツ活動における自己管理に役立てることができるよう工夫されている。 「文化としてのスポーツ」では、世界中に広がる様々なスポーツの魅力について、多くの写真や挿絵を掲載することで、文化としてのスポーツの意義を理解することができるよう工夫されている。 	

III 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	大修館	学 研
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章量は、適切に分かりやすく、質・量・適切な記述となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育の学習方法に関する内容や、各章末の学習のまとめにおいて、分かりやすい記述内容となるよう工夫されている。 「章末資料」では、学習内容を補完することで、自ら調べようという意識を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末の「学習のまとめ」において、言葉の補足説明を加え、生徒の理解を図ることができるよう工夫されている。 「学びに活かそう」では、問いや例示に沿った学習活動を設定することで、表現力を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「章の扉」や本文、章末の「探究しようよ！」等が、分かりやすい文章で記述され、理解できるよう工夫されている。 「章のまとめ」や「1年の学習の終わりに」の二段階構成で振り返ることで、新たな学びや生活実践への取り組みができるよう工夫されている。 	
	<p>(2) 写真・挿絵・図表などは、学習内容との関連や学習効果を高めるよう配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭口絵には、オリンピック・パラリンピックのメッセージ、人と人をつなぐ・支える、共生の視点を重視したスポーツの力や、食育に関する写真が、巻末口絵には精密な人体イラストが掲載されている。 「がんの予防」では、「健康な大腸とがんのできた大腸」の写真に掲載することで、視覚的にがんの状態が分かるよう配慮されている。 教科書とリンクしたデジタルコンテンツを掲載することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭口絵にはオリンピックや世界大会をはじめとする著名選手等の写真、キャリア教育や食育につながる資料、巻末口絵には「わたしたちの体」が掲載されている。 「がんの予防」では、「がんを防ぐための新12か条」を掲載することで、生活習慣を意識できるよう配慮されている。 教科書にタブレット等をかざすと動画が確認できるAR技術を活用することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭口絵に「スポーツの魅力」「キャリア教育」「情報教育」「中学生食生活」「保健体育に関する博物館など・世界で活躍する人たち・本」に関するものが、巻末の口絵には、体の仕組みが掲載されている。 「がんの予防」では、「がん危険性を減らす五つの健康習慣」を掲載することで、生活習慣を意識できるよう配慮されている。 教科書とリンクしたデジタルコンテンツを掲載することで、学習意欲や学習効果を高めることができるよう配慮されている。 	
	<p>(3) レイアウトや色紙質、文字の大きさ、適切に配慮されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを「見つける」「課題の解決」「広げる」と設定するとともに、見開き1ページで示すことで、分かりやすくなるよう配慮されている。 各章を色分けしたり、単元名と「学習の課題」を同一色で示したりすることで、本時の学習内容が明確になるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各ページ、本文を左側、資料を右側に統一し、見やすく整理するとともに、1年の本文では、文節改行を取り入れることで、読みやすくなるよう配慮されている。 単元名や「学習のねらい」「つかもよう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」を色分けして表示することで、見やすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元名、見出しの部分を章ごとに色分けし、本文の行間や余白スペースを十分に確保するとともに、「資料」「コラム」に薄く着色することで、見やすくなるよう配慮されている。 本文の見出しを「～である」に統一することで、学ぶべき内容を的確に把握することができるよう配慮されている。 	